平成２８年度　伊那市学校人権同和教育実践計画概要

学校名　　伊那市立高遠中学校

テーマ　　差別や偏見、いじめをなくすために、主体的に立ち向かっていく意欲と実践力を高める指導はどうあったらよいか。
ー開かれた学級づくりを通してー

	学年	人権課題（※1）	扱う資料等	取組内容（箇条書で簡潔に）
学年ごとの取り組み予定	1	①人権一般 ②女性 ⑤障害者 ⑥同和問題	・あけぼの	・男女平等参画社会 ・フェアトレード ・ユニバーサルデザイン・バリアフリー ・江戸時代の身分制度について
	2	⑦アイヌの人々 ④高齢者 ⑩HIV感染者、ハンセン病患者 ⑥同和問題	・あけぼの	・こどもの権利条約 ・アイヌの人々について ・高齢者について ・ハンセン病患者について ・近代の部落差別
	3	⑮満州開拓団・中国帰国者 ⑥同和問題	・あけぼの	・満蒙開拓について ・部落解放について ・戦争中から戦後の部落解放運動について
人権同和教育推進上の悩み			・講演会等の要請方法 ・他人事ではなく、自分自身のこととして考えられる指導の仕方	

								①講師決定理由・人権課題 ②工夫改善点 ③取組内容・新たな取組等
生徒	研修講演会	テーマ/タイトル	いじめ					①
		講師名・所属等	検討中					
	アンケート等		QUｱﾝｹｰﾄ	実施学年	１，２年	実施回数	１回	③QUアンケートを活用した学級経営についての研修
			その他	いじめアンケート				
	生徒会の取組		③会員同士の友愛を深める取り組み 観桜期活動によるボランティア精神の育成　老人福祉施設への訪問交流					
保護者	研修講演会	テーマ/タイトル	検討中					①ＰＴＡ教養部との連携で、講演会や研修会を検討する予定
		講師名・所属等	検討中					
	家庭への発信・連携		・学級通信や学年通信による、授業や実践の様子の紹介 ・授業参観日での人権教育授業の実施					
職員	研修講演会	テーマ/タイトル	検討中					①
		講師名・所属等	検討中					
	校内組織の取組		③生徒やＰＴＡ、また職員間でも講演・研修内容を共有し、職員自身の知識を蓄え、人権感覚を磨く。QUアンケートを活用した学級経営についての研修。					
○地域組織、他学校、福祉施設との交流・連携 ○地域への発信等			②③『さくらの里』への訪問交流・伊那養護学校との交流・学校だよりによる人権学習の紹介・観桜期活動によるボランティア　副学籍生徒を通しての養護学校との交流や、生活福祉委員会を中心とした福祉施設訪問等。					

【※１】人権課題について（　下記から選んで記入してください。記入例「　④障害者　」　　）
①人権一般（生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等）　②女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）男女平等　③子ども（いじめ、こどもの権利等）　④高齢者　⑤障害者　⑥同和問題　⑦アイヌの人々　⑧外国人　⑨インターネット、携帯電話等による人権侵害　⑩HIV感染者、ハンセン病患者　⑪刑を終えて出所した人　⑫犯罪被害者　⑬北朝鮮当局による拉致被害者問題　⑭性的指向に関わる問題　⑮満州開拓団・中国帰国者　⑯東日本大震災